

# 人 事 異 動 方 針

令和6年4月1日

コロナ禍を経て、奈良市の社会・経済活動が再び活発化しています。そして、2025年の大阪・関西万博の開催を契機に、多様な価値観や生き方、デジタル技術の革新を背景として、未来に向けた持続可能な社会づくりに取り組む機会が訪れています。

新年度には、これまでに育ててきたプロジェクトが芽吹き、成長を遂げる段階にあります。2025年度以降のさらなるまちの成長と進化に向けて、行政ニーズの多様化・複雑化に迅速かつ効率的に対応できる組織であるために、事業の継続性を考えながら、人材を有効に活用することを目指します。

社会全体の生産年齢人口が減少する中で、性別や年齢に関わらず、能力や個性を重視し、多様な人材を積極的に登用することが重要です。組織内のダイバーシティとイノベーションを促進し、柔軟な職場風土を醸成することで、職員一人ひとりの成長を支え、組織全体の力を最大限に引き出すため、適材適所の人事配置を行います。

## 1 令和6年度組織改正の概要（市長部局）

### （1）課の統廃合

- ◆予防接種法の改正に当たり、新型コロナワクチン接種推進課を廃止し、健康増進課に業務を移行する。

### （2）室の新設・廃止

- ◆納税課において、ふるさと納税における新たな方策の立案及び実行するため、ふるさと納税室を新設する。
- ◆マイナンバーカードセンターを廃止する。

### （3）係の新設・名称変更・廃止

- ◆危機管理課において、防災に関する総合企画及び推進等を行うため、総務係を新設する。
- ◆総合政策課において、係を撤廃し、プロジェクトごとに業務を割り当てるグループ制に移行する。
- ◆DX推進課において、係を撤廃し、プロジェクトごとに業務を割り当てるグループ制に移行する。
- ◆資産管理課において、未利用地の処分等を積極的に行うため、資産活用係を新設する。
- ◆納税課において、ふるさと納税室の新設に伴い、ふるさと納税係を管理係に名称変更する。
- ◆母子保健課において、ケース支援への助言・指導及び子ども支援課、子育て相談課との情報の共有、ケース支援の強化を図るため、母子支援係を新設する。
- ◆環境清美工場において、焼却残灰等処理のコスト削減を行うため、運搬を直営で行う施設第六係を新設する。

## 【市長部局の組織数及び増減】

	部	部のかい	課	課のかい	係
令和5年11月1日現在	10	5	77	9	210
令和6年4月1日現在	10	5	76	10	208
増減	0	0	-1	1	-2

## 2 人事異動の規模（市長部局）

	令和5年度	令和6年度
課長補佐級以上	133 名	120 名
係長級以下	265 名	271 名
計	398 名	391 名

## 3 人材派遣・人事交流（市長部局）

派遣・研修等	令和5年度	令和6年度
国への派遣	5 名 ( 外務省 1名、 経済産業省 1名 国土交通省 2名、 内閣府 1名 )	4 名 ( 外務省 1名、 経済産業省 1名 国土交通省 1名、 内閣府 1名 )
他自治体への派遣	5 名 ( 奈良県 5名 )	4 名 ( 奈良県 4名 )
その他団体等への派遣	6 名 ( 奈良市観光協会 2名、 日本貿易振興機構 1名、 新公益連盟 1名、 構想日本 1名、 アジア太平洋観光交流センター 1名 )	8 名 ( 奈良市観光協会 2名、 日本貿易振興機構 1名、 新公益連盟 1名、 構想日本 1名、 アジア太平洋観光交流センター 1名、 国立大学法人奈良国立大学機構 1名、 奈良商工会議所 1名 )

## 4 管理職平均年齢・最年少年齢（市長部局等） ※就任時年齢

	令和5年度		令和6年度	
	平均	最年少	平均	最年少
部長級	57.4 歳	49 歳	57.9 歳	52 歳
次長級	56.9 歳	51 歳	56.6 歳	51 歳
課長級	52.8 歳	37 歳	52.6 歳	38 歳
主幹級	54.4 歳	35 歳	54.0 歳	36 歳
課長補佐級	51.0 歳	39 歳	49.7 歳	38 歳
係長級	46.1 歳	33 歳	46.9 歳	33 歳
合計	49.7 歳	33 歳	49.5 歳	33 歳

5 女性管理職登用率（市長部局等） ※就任時年齢

	令和5年度				令和6年度			
	女	男	合計	率	女	男	合計	率
部長級	5人	15人	20人	25.0%	5人	14人	19人	26.3%
次長級	7人	25人	32人	21.9%	5人	25人	30人	16.7%
課長級	27人	67人	94人	28.7%	30人	65人	95人	31.6%
主幹級	33人	5人	38人	86.8%	31人	3人	34人	91.2%
課長補佐級	74人	159人	233人	31.8%	70人	145人	215人	32.6%
合計	146人	271人	417人	35.0%	141人	252人	393人	35.9%